

公式戦試合日程

5月3日 [土・祝] 14:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 読売ジャイアンツ

5月4日 [日・祝] 14:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 読売ジャイアンツ

5月5日 [月・祝] 14:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 読売ジャイアンツ

5月6日 [火・休] 18:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 阪神タイガース

5月7日 [水] 18:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 阪神タイガース

5月8日 [木] 18:00 ナゴヤドーム
中日ドラゴンズ × 阪神タイガース

観戦チケットの購入方法はコチラ

[中日ドラゴンズ](#) [検索](#)



Naomichi Donoue

堂上直倫

堂上直倫
どのうえ なおみち

昭和63年9月23日生まれ、春日井市出身。ドラフト1位指名で入団。ポジションは内野手。身長184センチ、背番号は1。プロ初出場は、平成20年8月3日の読売ジャイアンツ戦

堂上直倫
どのうえ なおみち

昭和63年9月23日生まれ、春日井市出身。ドラフト1位指名で入団。ポジションは外野手。身長183cm、背番号は63。プロ初出場は、平成17年9月10日の読売ジャイアンツ戦

Dragons

卷頭特集

「春日井市生まれの兄弟竜」

「一人で立てたのは、父と母と、応援してくれている人のおかげなので、本当に感謝しています」

堂上剛裕選手と堂上直倫選手。中日ドラゴンズに所属する兄弟選手が、初めて一人でヒーローインタビューにこたえた時、剛裕選手はそう締めくくった。

春日井市立知多中学校出身。ドラゴンズに所属した父を持ち、地元の星としてチームを支え続ける。

兄の背中を追いかけて 野球漬けの少年時代

剛裕選手に影響を受け、3歳下の弟・直倫選手も野球の道を進む。小学生の時に、「名古屋北リトル」に入団。兄弟は庄内川に面したグラウンドで、白球を追いかけた。「土日は朝の7時半から陽が落ちて暗くなる頃まで。水・木曜日は、夜もありました」とまさに野球漬けの日々。少しでも上手くなりたいと、目標とする兄の背中を追いかけた。

平成15年、当時中学3年生の直倫選手はナゴヤドームのバッターボックスに立つ。チームとファンが交流する「中日ドラゴンズファン感謝デー」に参加。同年、ゴールデングラブ賞を受

賞した福留孝介選手（現阪神タイガース）から本塁打を放つたエピソードを残す。

兄と同じ名電に進学。1年時からレギュラー入りを果たす。平成17年、第77回選抜高等学校野球大会では本塁打を放つなど、優勝に貢献。高い打撃センスにプロ球団から注目が集まつた。

倫選手は、中日ドラゴンズから1位指名を受け入団。

「これまで一番心に残つている試合は、やはり兄貴とお立ち台に立てたときです」

平成22年8月6日阪神タイガース戦。2回に剛裕選手が先制となる二塁打を放つと、8回には直倫選手がタイムリーを放ち、ドラゴンズは4-1の勝利を收める。その日のヒーローインタビューでは、剛裕選手と直

倫選手が並んだ。

選手兼任で指揮を執る谷繁元信監督のもと、開幕した今季のペナントレース。「今年ほどチャンスの年はないと思うのでレギュラーを取りたい。応援して頂けることが楽しみ。春日井市出身としてのパワーを見せたい」と直倫選手。剛裕選手も「優勝に向けてチームに貢献していく」と、青い闘志“をみなぎらせた。

兄弟で上ったお立ち台 今シーズンへの思い

平成18年のドラフト会議で直



Takehiro Donoue

63

プロの世界に憧れて
夢を叶えた野球選手

を感じて、野球を始めました。

平成15年、中日ドラゴンズからドラフト6位で指名された堂上剛裕選手。野球との出会いは、プロ野球という華やかな舞台へ憧れからだった。ドラゴンズの投手として活躍した父の影響もあり、小学4年生で「名古屋北リトル」に入団した頃には、「プロ選手になる」という大志を抱いていたといふ。

「名古屋北リトル」は全国でも名の知れた強豪チーム。「小学生の頃に、基礎をすべて叩き込まれた」と剛裕選手が話すように、厳しい練習で野球選手としての土台が築かれた。「勝つために努力する」ことを骨の髄まで叩き込まれた剛裕選手は、名門・愛知工業大学名電高校に入学。練習はもちろん、掃除など生活面でも厳しい指導を受けた。こうした日々と共に過ごした仲間たちとの交流は現在も続いている。「今でも食事に行ったり、オフシーズンと一緒に練習したりしています」と笑顔を見せた。

今季も先輩選手の長所を取り入れながら、長打力に磨きをかけ、一軍での出場機会を増やす。日に、プロのレベルの高さを改めて感じ、持っていた自信は一気に碎かれたそうだ。

堂上剛裕
どのうえ たけひろ

昭和60年5月27日生まれ、春日井市出身。ドラフト6位指名で入団。ポジションは外野手。身長183cm、背番号は63。プロ初出場は、平成17年9月10日の読売ジャイアンツ戦



憧れの選手に元ドラゴンズの大豊泰昭選手を挙げた剛裕選手。「一球への懸命さを見習いたい」と話す